

# 「トヨタのハチロクなど、自社対応ばかりか、部品供給依頼にも対応」 自動車整備部品を自ら製作 ワークの大きさをスーパーG1チャックとグリーンG1チャックを使い分け

## インパルス(神戸市) — ユキワ精工ツールリングユーザー訪問 — ユキワ製ツリーリングで刃物寿命は3倍以上に

モータースポーツといち込み、もう方の整備う、筆者があまり耳慣事業にシフトしていくれない言葉に接した。インパルスの田嶋社長は、元々、レーシングドライバーで「今でもレースに出場したいのが本心だ」と話した。



スーパーG1チャックとグリーンG1チャックを使い分けする田嶋社長

自社で使用している部品を自社で製造することになり、2015年からは同業他社への部品の販売にも着手するようになったという。修理部品を製作し、自社の整備事業を円滑に進めるだけではなく、部品そのものの販売にも着手するひとつの判断にも、田嶋社長は周辺領域の広がりを見据えている。

この間、製造する部品の種類と量が増え、さらにはチューニングするための新たな部品需要も発生するなか、2022年2023年と相次いで、ブラザー工業のスピードイオを導入し、ユキワ精工の出会いはこの30番主軸に合わせたツリーリングの選定がきっかけだった。

「私はユキワ精工のホームページで気になっていたが、取引商社から他社製が推奨され、結局、ミッションケースのテスト加工で3メーカーを比較。径方向に対する負荷への対応力がポイントだったが、スーパーG1チャック装着時だけが、普通に切れたが、残る部品のツリーリングでは「まったく切れなかった」結果となり、「スーパーG1チャックによって30番機で削れる領域を体感した」。

「荒加工から仕上げ加工まで工具交換なしで行えるようになったことも評価ポイントで、効率と精度を同時に手に入れた」と田嶋社長は感謝する。

その後、エボ精工からグリーンG1チャックのデモ機が提供され「使ってみて良かった」とから「16ミリ以上ならスーパーG1チャック、12ミリ以下ならグリーンG1チャックとの棲み分けを行うことに」。

特にグリーンG1チャックは、仕上げの精度の高さを意識的に追求する際には欠かせないという。

「とは言え、いつまでも現役のリサーを続けられる訳はなく、周りを引く、家業を引き継いだり、サラリーマンになったり、その後進路は様々。私は2004年に中古車の販売・整備の起業で自らの方向性を決定した」。

誰しも霞を食って生きられない。田嶋社長のような車好きの人に、とくに中古車の販売整備は選択肢のひとつだった。

だが、2008年のリーマンショックによって、中古車販売の市場が落ち込んで、整備に必要な

的なのではトヨタのハチロクが名指し出来る。「当時、まだ珍しかったアログでPRし、修理の見える化」を図ったところ、大量の注文に繋がった。ここにも田嶋社長の力量が伺える。

だが、困ったことに2010年辺りから、手当てできる修理部品が少なくなり、特に生産台数の限られた車は修理そのものに支障をきたすようになっていった。

部品加工に乗り出す経緯であり、2013年にマシンセンターを導入して、整備に必要な



トヨタのハチロクなど対応車種はマニアクな中古車が多い

現状で部品製作点数は月間、600個〜1000個以上。

「切削条件を極力上げていくようにしているが、それでもユキワ精工のツリーリングを使用すれば削れず、隅部でもビビリが抑制され、刃物の寿命は従来に比べて3倍以上だ」。

2台の自転車のアルミの削り出しによるレーシングドリフトでは、2台のスピードイオを260時間フル稼働させて予定通り1カ月で納品した。

「レーシングドライバーだったことと関係しているかと思う。限界から始め、その現実を知って、学んでいく。加工も同様だろう」と。

自動車整備用の機器製作にも1年半前から手がけるようになっていく。

「ユキワ精工さんには、何でも質問させて頂いて、内容を問わず、対応はいつも至極丁寧だ」とアフターフォローに感謝しつつグリーンG1チャックの16ミリの20ミリのサイズが欲しい。また、ホームページでホルダのデータをダウンロードしようとしても、なかなか、上手くいかなかったりする。改善をお願いできれば」と田嶋社長は結んだ。

お客様から

# ありがとうございます

と云っていただけると言っている  
ツールホルダー

ツールホルダーを  
変えると、  
生産性が向上する



ツリーリングシステム  
スーパーG1チャック

**YUKIWA** ユキワ精工株式会社 Precision Grade No.1  
スーパーG1チャック 検索 <https://www.yukiwa.co.jp/>  
G1 Super G1 Chuck  
本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112  
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.